

## 【続報】新型コロナウイルスによる物流への影響

新型コロナウイルスの感染者数は全世界で294万人を超え、死者は20万人を突破しました。最も被害が大きな米国ではこれまでに約95万人が感染し、死者も5万人を超えています。一方で、イタリアでは7週間継続してきた行動規制を5月4日から緩和する計画を発表しました。本号では各国における物流への影響を中心にお伝えします。

### 1. 各国における物流への影響

現時点で確認された各地における物流の影響は以下のとおりです。

#### 【アメリカ】

・バージニア港は物流量の減少に伴い、5月4日より Portsmouth Marine Terminal をクローズして、Virginia International Gateway (VIG) と Norfolk International Terminals (NIT)にて オペレーションを継続する旨発表しています。

#### 【メキシコ】

・メキシコ雇用者協会 (COPARMEX) は輸送中の貨物を守るため盗難リスクの高いルート (メキシコシティ-プエブラ-ベラクルス-タバスコをつなぐルート、および、メキシコシティ-ケレタロ-グアナファト-ラサロ・カルデナスをつなぐルート) における対策強化を政府に申し入れています。

・また、検疫を装ってトラックを停止させて貨物を盗難する手口が報告されています。本物の検疫所では軍や警察が同席しており、医療従事者も身分証明書を携帯しているので、区別をつけるよう注意喚起がされています。

#### 【ブラジル】

・現時点では、高速道路・港湾・空港とも貨物輸送においては影響はありません。

#### 【欧州】

・ドイツ・オーストリア・デンマーク・イタリア等一部の国では商店・書店等一部の業種に限り営業再開をしています。

・フランスでは5月11日より一部の制限を解除する方向で進めています。

・スペインでは非常事態宣言を5月9日まで延長し、ホテルや飲食店は宅配サービスのみ許可されています。

#### 【アジア】

・インドネシアの国鉄では米や果物・野菜などの生鮮食料品を含む小売品の鉄道輸送を開始しました。鉄道の旅客数減少に伴い貨物輸送事業を強化しており、ジャワ島内60駅に設置した窓口で小売品の持ち込みと受け取りが可能になります。

・マレーシアでは、主要港に保管されていた輸入貨物などの輸送が開始され港湾の混雑が緩和されつつありますが、加工工場が一部操業していないほか、完成品の輸出が滞っていることで、国内倉庫の収容能力が限界に近づいています。運輸省はこれまで4回にわたり貨物の引取りを求めています。活動制限令により全面的な操業が認められていない自動車・建設関連企業向けの原材料保管が増加し続けており、コンテナの積み残しに繋がっています。

・ミャンマーのヤンゴン管区政府は、コンテナトラックの昼中走行 (午前7時～午後8時) を一時的に許可しました。引続き夜間外出禁止令により夜間走行は禁止されています。

・フィリピンでは、ルソン島全域で実施されている外出・移動制限の中でも、マニラ南港・バタンガス港のコンテナターミナルはそれぞれ稼働率70%・50%で運営されています。

## 【アフリカ】

- ・コンゴはロックダウンを 5 月 11 日まで延長しました。また、ポアントノール港はオペレーションを継続していますが、業務を一部縮小しています。
- ・ギニアでは夜間（21 時～5 時）の外出が禁止されているため、港湾および空港は 8 時～16 時に限定してオペレーションを継続しています。
- ・ナイジェリアはロックダウン中であり、政府は国境の閉鎖期間を 5 月 4 日まで 2 週間延長しました。ラゴス港は閉鎖されており、すべての活動が停止しています。
- ・トーゴではロックダウンが継続され、夜間（19 時～6 時）の外出が禁止されています。港湾施設は 24 時間稼働していますが、バルク船の夜間荷役作業は中止となり午前 5 時以降の対応となっています。

## 【日本国内】

- ・名古屋港のコンテナ取扱量は輸入は 2 月 前年同月比 24%減・3 月 16%減に対し、輸出は 2 月が 12%減・3 月が 15%減と徐々に輸出のマイナス傾向が拡大しています。また、コンテナターミナルでは中国からの輸入が減少したことを受けて、2 月から全ターミナルで実入りコンテナ搬出の時間外ゲートオープンを午後 6 時まで短縮していましたが、4 月 17 日からは搬入も同様に短縮となっています。

## 2. 弊社グローバルネットワークのご案内

前述のように各国政府からの指示により行動制限が発生しているものの、現時点では海外拠点の弊社社員、海外クレームエージェントを含め、リモートワークなどを活用してお客様対応を継続しております。事故発生の際には、下記の損害サービスネットワーク、弊社コマース損害部または営業課までご連絡いただきますようお願い致します。

[https://www.tokiomarine-nichido.co.jp/hojin/marine\\_site/songai/kamotsu/kaigai\\_network/](https://www.tokiomarine-nichido.co.jp/hojin/marine_site/songai/kamotsu/kaigai_network/)



<https://www.nna.jp/news/show/2036739>

<https://www.nna.jp/news/show/2036038>

<https://www.nna.jp/news/show/2035574>

<https://www.nna.jp/news/show/2035576>

<https://www.jmd.co.jp/article.php?no=256593>

マリントピックスのバックナンバーはこちら



本 Topics に関するお問い合わせ、ご意見、ご感想等ございましたら、弊社営業担当までお寄せください。編集にあたっては万全の注意を行っていますが、本 Topics 情報の正確性を保証するものではなく、これにより生じたいかなる損害に対して弊社は一切の責任を負わないものとします。